

# 日本語格助詞データベースプロジェクト

## — 語義の立て方並びに例文作成についての考察 —

マダドナー・めぐみ(ウィーン大学)

Megumi.maderdonner@univie.ac.at

尾沼玄也(拓殖大学)

g-onuma@ner.takushoku-u.ac.jp

砂川有里子(筑波大学・国立国語研究所)

sunakawa0001@mac.com

関かおる(神田外語大学)

seki-k@kanda.kuis.ac.jp

### 1. はじめに

国立国語研究所では、日本語教育に関連する共同研究プロジェクトが複数実施されている。例えば、「多様な言語資源に基づく日本語非母語話者の言語運用の応用的研究」プロジェクトでは、学習者コーパス研究や作文教育支援研究、「多様な語彙資源を統合した研究活用基盤の共創」プロジェクトでは、学習者の辞書使用の実態調査や学習者用「日本語機能語バンク」等のサブプロジェクトが進行中である<sup>1</sup>。

このうちの「日本語機能語バンク」は、サブプロジェクトリーダーのプラシャント・パルデシのもとで「日本語文型データベース<sup>2</sup>」と「日本語格助詞データベース」という2種のデータベースを構築し、オンラインでの公開を目指している。本稿はこのうちの「日本語格助詞データベース」を取り上げ、見出し語の記述について述べる。

### 2. 「日本語格助詞データベース」とは

「日本語格助詞データベース」とは、学習者用に約1,200語の和語動詞の語義と例文を示し、格助詞の組み合わせパターンを示すオンラインのシステムである。例えば、「かかる」という動詞が取り得る格助詞のパターンには次のようなものがある。

---

<sup>1</sup> 詳しくは以下のサイトを参照されたい。 <https://www.ninjal.ac.jp/research/cr-project/project-4/lexical-resources/> (2024年1月31日)

<sup>2</sup> 「日本語文型データベース」は約2,000語の文型に意味・使い方・接続情報・例文・音声ファイルを付与したデータベースである。現在は初中級の220文型がインターネット上に公開されている。  
<https://bunkeibank.ninjal.ac.jp> (2024年1月31日)

パターン 1	...ニ (場所) ...ガ (対象) かかる
例文 1	壁に 絵が かかっている。 ニ格 (場所) ガ格 (対象) かかる (自)
パターン 2	...ニ (目的) ...ガ (対象) かかる
例文 2	新薬の 開発に は 多くの 時間とお金が かります。 ニ格 (目的) ガ格 (対象) かかる (自)

「日本語格助詞データベース」は、上の例のように、それぞれの動詞の語義ごとに格助詞のパターンを示し、それぞれのパターンについて複数の例文を挙げ、例文中の格成分が持つ意味役割をわかりやすく提示することを目的としている。

当プロジェクトでは、見出し語の語義を分類し語積と例文を記述する日本語教育の専門家グループと、語義ごとの格パターンを記述し例文に格助詞のアノテーションを行う言語学の専門家グループに分かれて作業をしている。本稿は、日本語教育の専門家グループによる見出し語の執筆作業についての報告である。

### 3. 見出し語の執筆作業

日本語教育の専門家グループは、3つの執筆班を擁し、それぞれの執筆班は校閲者1名と執筆者2名によって構成されている。執筆者2名はペアを組み、一方が記述した内容を他方がチェックするという方法でクロスチェックを行い、語義の分類と語積と用例の執筆を行った。作業手順は以下の通りである。

1. 執筆者2名が各自に割り当てられた見出し語の語義を分類し、語積を書く。
2. 執筆者は相手を書いた語積を読んで例文を作成する。その際、語積が適当かチェックする。
3. 執筆者は相手を書いた例文を読んでチェックする。
4. 執筆者は互いのコメントを参照し改訂したうえで、各自に割り当てられた語積と例文を完成させる。
5. 執筆者が書き上げた語積と例文を校閲者が校閲する。
6. 執筆者は校閲者のコメントに従い最終稿を作成する。

これらの作業は、全て「日本語格助詞データベースエディタ」<sup>3</sup>を使用しオンラインで進められている。図1は「日本語格助詞データベースエディタ」のページを表示したものである。

<sup>3</sup> 「日本語格助詞データベースエディタ」は、Lago NLPがオンラインでの辞書編集用に開発したLago DWSをカスタマイズしたもので、著作権はLago NLPにある。そのため、Lago NLPと使用契約を結んだ「日本語格助詞データベース」プロジェクトの関係者（執筆者と校閲者）のみがアクセスできる。

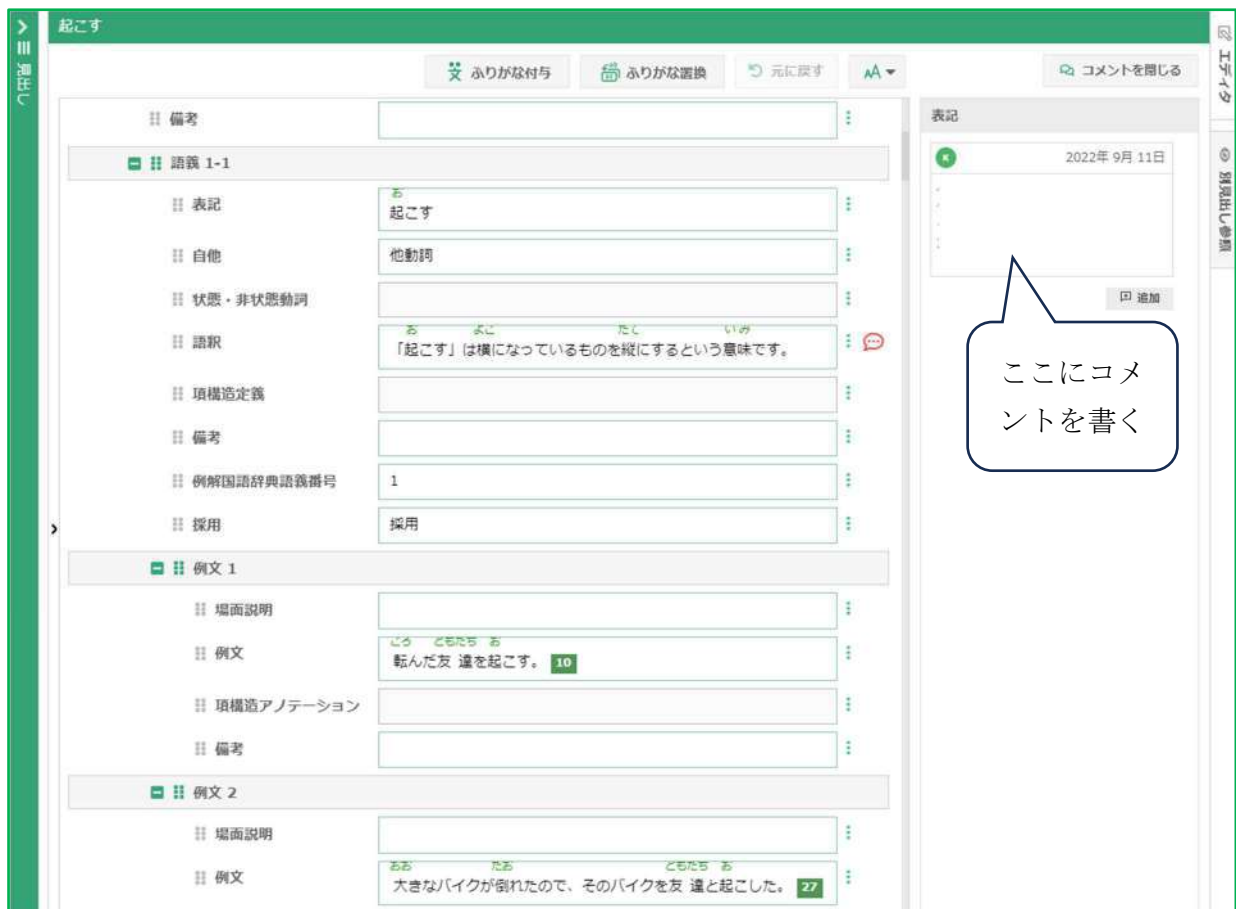


図1 日本語格助詞データベースエディタの編集画面

執筆者は、「語釈」と「例文」の欄を用いて記述を行う。執筆パートナーに対する疑問、質問、それに対する答え、コメントなどは随時エディタに設けられたコメント欄に記入することで議論を進めていく。語義の分類は、三省堂の『例解 新国語辞典』に準拠し、必要に応じて加除修正する。例文執筆の際は随時 BCCWJ、NLB などのコーパスを参照する<sup>4</sup>。

#### 4. 執筆のコンセプト

執筆のコンセプトは 2022 年 5 月のプロジェクト開始時にまとめたが、その後第 1 期の作業で見えてきた課題について話し合い、現在は以下のようにになっている。

##### 4.1 語釈執筆のコンセプト

- 「...は...という意味です」の形で記述する。  
これは、『コウビルド英英辞典』が編み出した「文定義」と呼ばれる文の形で語釈を示す方法から採った。三修社『ねっこ 日日学習辞書 動詞・形容詞 300』でも採用されている。
- 語義数が多い場合は語義立てを階層化して大見出しを立てる。

<sup>4</sup> BCCWJ は「現代日本語書き言葉均衡コーパス」、NLB は「Ninjal LWP for BCCWJ」の略語。

これは、基本的な意味と具体的な意味を分けて示すことで、理解を促進する工夫である。例えば「上げる」の場合、以下のように基本的な意味「より高い方へ移す」を大見出しとし、具体的な意味をその下に示していく。

語義1「上げる」はより高い方へ移すという意味です。

- 1-1 「上げる」はものを低いところから高いところに移すという意味です。
- 1-2 「上げる」は、体の一部を上にあげるとという意味です。
- 1-3 「上げる」は海や川から魚などを陸にあげたり、船から荷を下ろしたりするという意味です。
- 1-4 「あげる」は人を自分の家に入れるという意味です。
- 1-5 「あげる」は一度食べたり飲んだりしたものを口から出すという意味です。
- 1-6 「あげる」は上のグループに入れたり上の地位にしたりするという意味です。

語義2「上げる」は増やしたり大きくしたりするという意味です。

- 2-1 . . .
- 2-2 . . .

- 名詞と動詞の個々の意味が希薄で、「名詞+動詞」全体で1つの意味を表していると考えられる場合は、次のように記述する。  
(例) 「傘を差す」は、傘を広げて頭の上をおおうという意味です。
- 特定のゲームや特定の業界でのみ使われる慣用句は立項しない。  
(例) 野球で「一塁を刺す(＝走塁しようとする選手をアウトにする)」
- 自動詞、他動詞のペアがある場合は、自他の別が語釈で分かる書き方をする。  
(例) 「～が高くなるという意味です」「～を高くするという意味です」

#### 4.2 例文執筆のコンセプト

- 格の使い方を分かりやすく示す。  
動詞が取りうる格を不自然にならない範囲でなるべく多く例文に示す。  
付加詞もなるべく示す。  
格の提示については基本動詞ハンドブックの文型とコロケーションを参照する。
- 普通体でも敬体でもいい。
- 一文だけでもいいし、会話のやりとりを示してもいい。
- 不自然にならなければ受身文、使役文、否定文などを交える。
- 例文全体の長さは50字以内に収める。
- 場面や状況をイメージしやすい例文を作成する。
- 状況を示す必要がある場合は「場面説明」の欄に記入する。
- 地名や人名など固有名詞を使う場合は学習者に分かりそうなものを使う。
- 人種・宗教・性などのバイアスがかからないよう注意する。

#### 5. クロスチェックの活動

クロスチェックに際しては、特に以下の点に留意する。

### 5. 1 クロスチェックの留意点

- 難しすぎる言葉を使っていないか。
- 語釈がその語の意味を正しく表しているか。
- 例文が語釈と適合しているか。
- 一般の母語話者が読んですぐわかるか。
- 例文が日本の常識を知らなくても理解できるか。
- 似たような例文が重複していないか。
- 必須補語がもれなく例文に挙がっているかどうか。
- 自然な日本語であるか。

### 5. 2 例文修正例

クロスチェックの過程で議論された問題例をいくつか示す。⇒の後は修正後の例文である。

- a) 特定のジャンルの語彙が多く、それが理解できないと内容の理解が難しい例：「焼く」  
(パンのレシピ) 発酵後に成形した生地がじゅうぶんに膨らんだら、200度に熱したオーブンで15分焼く。  
⇒ 誕生日に祖母がケーキを焼いてくれた。
- b) 状況に具体性がなく説明不足で何が(誰が) どうするのかははっきりせずわかりにくく、一般の母語話者が読んでもすぐには状況を飲み込めない文の例：「進む」  
帰路を馬車で進めようとしたが、夜道を怖がって進んでくれなかった。  
⇒ (乗馬クラブで)  
講師「次は早足で馬を進めます。」  
生徒「先生、馬が言うことを聞いてくれません。」
- c) 漢字が違っている上、状況が不自然で暴力的で、一般の母語話者が読んでもすぐには状況を飲み込めない例：「押さえる」  
麻酔がなかった時代には、医者は暴れる患者を抑えて治療をしなくてはならないこともあった。  
⇒ 獣医「これから注射をしますから、ワンちゃんの体をしっかり押さえてください。」  
飼い主「わかりました。」
- d) 文章が冗長なのでシンプルにした文の例：「焼ける」  
海に沈む夕日を見ていた。水平線に重なる薄雲がオレンジ色に焼けたと思ったら、すぐに濃い青色が広がっていった。  
⇒ 雲が夕日に焼けてとてもきれいだ。
- e) 文化的理解が難しい例：次の例の「国語」は日本の学校教育において使われる語彙であり、日本の常識を知らない場合理解が難しいと判断した。  
国語が苦手だという学生に幅広いジャンルの読書をするように勧めた。

⇒ 日本語の日常会話を学びたいという学生に日本のドラマを見るように勧めた。

f) 固有名詞を避けた例：

聡さんと慶子さんは・・・

⇒ あの二人は・・・

## 6. 今後の課題と展望

現在は2024年3月までの予定で204語の執筆作業中である。執筆作業が完了したものから順にアノテーション班が格構造の記述と例文に格情報を付与する作業を行なっている。この作業中にアノテーション班から指摘された問題点を検討し、執筆方法を改善する。また、必要であれば執筆済みの見出し語についても再検討し、記述を改善する。

2024年度はさらに約300語の執筆を予定している。2025年度中にはアノテーションを終了した見出し語の一部を試験的にオンライン公開する計画である。

## 付記

本稿は、国立国語研究所・共同研究プロジェクト「多様な言語資源を統合した研究活用基盤の共創」の「学習者用「日本語機能語バンク」の構築」（サブプロジェクト代表者：プラシャント・パルデシ）および、JSPS 科研費 22H00672（研究代表者：プラシャント・パルデシ）の研究成果の一部である。